

科目名	地域と金融
単位数	2単位
担当者	湯浅 由一
授業種別	講義科目

サブタイトル	金融の現場を知る講師陣から地域金融と金融全般について学ぶ			
授業内容	<p>人間で言えば金融は血液です。金融がうまく流れなければ経済は衰退します。一口に金融機関といっても、大手の都市銀行から地方銀行、信用金庫、信用組合、農協、労働金庫などその業態は様々です。その中でもとりわけ地域金融に特化し、地域の経済と社会の活性化に貢献する信用金庫に焦点をあて、地域金融の現場を知る信用金庫職員から地域金融機関の使命と役割、業務内容などを直接学びます。</p> <p>同時に、地域金融機関としての飯能信用金庫の実務経験者から、私たちの生活と金融がどのような関わり合いを持っているのか等を実践的金融論から学ぶことができます。毎回、異なった部署で働いている講師の話聞けるので、金融機関で働くとはどういうことか具体的なイメージを持つことができます。</p>			
到達目標	全体の講義を通じて、飯能信用金庫の現役職員による体験談を盛り込んだ内容で講義を行うことにより、実際の業務を踏まえた地域金融機関の使命と役割の理解を目標とします。加えて、社会人に触れることで、受講生の社会人基礎力を養成するきっかけとします。			
到達目標となる駿大社会人基礎力／養成する能力要素	駿大社会人基礎ver.2の④論理的・多面的思考力⑥構想力⑦主体的行動力⑧自己統制力を養います。			
卒業認定・学位授与方針との関連	この科目は、ディプロマ・ポリシー（全学部）の「（２）考える力」と関連しており、さまざまな角度から物事をみつめ、広い視野から筋道を立てて考える力を養います。			
関連科目	現代金融論			
テキスト・参考書等				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
-	-	-	-	-
授業外における学習方法及び必要な時間	毎回、レジュメが配布されます。講義の受講後、理解不明な点がある場合には、質問を紙ベースで受け付けます。そして、次回の講義中で回答するというやり方を採用します。受講生はレジュメの内容を確認してください。週当たり、4、0時間。			
成績評価方法				
評価方法	評価割合		成績評価基準等	
受講態度			70%	まじめな受講態度を高く評価します。
期末レポート			30%	レポートの内容によって講義の理解度について評価します。
課題に対するフィードバックの方法	リアクション・ペーパーを通じて、受講生との情報交換を行います。			
実務経験のある教員による授業科目等				
担当教員の実務経験		実践的な教育の取組		
飯能信用金庫の職員さんによるオムニバス方式での講義		信用金庫の役割・融資業務・資産運用の実際の取引について解説されます。		
授業計画				
第1回	講義オリエンテーション			
第2回	地域金融機関（信用金庫）の使命と役割			
第3回	地域金融機関の営業店経営について			
第4回	地域金融機関の業務について（資金調達、預金業務）			
第5回	地域金融機関の運用Ⅰ（融資業務Ⅰ 消費者ローン）			
第6回	地域金融機関の運用（融資業務Ⅱ 事業所ローン）			
第7回	地域金融機関の運用（有価証券）			
第8回	中小企業の現状についてⅠ			
第9回	中小企業の現状についてⅡ			

	現役経営者の講演（予定）
第10回	企業の課題解決型営業と支援業務について
第11回	中小企業を取り巻く事業承継と取り組みについて
第12回	あなたに役立つ金融知識Ⅰ 金融商品の仕組み
第13回	あなたに役立つ金融知識Ⅱ 税制の仕組み
第14回	地域金融機関としての今後の飯能信用金庫について
第15回	まとめ